

調停の調 済中何れも工場に閉鎖セルヤ

解雇通知の認ノ

ノ三項ニ對シ交渉シタル處工場主より第一項ニ對シテハ直ニ之ヲ拒絶シ第二項ニ對シテハ調停中ノモトニ拒ス第三項ニ對シテハ已ムヲ得サルニ付致方ナシト應ヘ會見僅カ五分餘ニシテ一同退出セリ

工場主側ニ於テハ成行キ安スヘシトシテ工場ニ於ケル残務整理ヲ為シ「ア」一方第議團側ニ於テハ向日根本龜吉、長井安信ノ兩名ナンテ別添「所」各急の正シキ御判断に利シト顯スル文書ヲ作製杉浦正房方附近住民ニ對シ各戸配布セシメタルカ右兩名ハ所轄滋谷警察署ニ檢束シ取調ヘノ上釋放セリ右及甲(通)報候也

5. 2. 26  
年 104

秘第五四一號

昭和五年二月十九日

警視總監 丸山鶴吉

内務大臣 安達謙藏殿  
社會局長官 寺田 茂殿

杉浦鐵工所勞働争議ニ関スル件 (第四報)

會社側ハ本月十日、一月三十日ヨリ二月四日迄正武工場閉鎖前日給約一千円ヲ支給ス

争議團側ハ強硬目給ノ支給ヲ拒ミ且第三回宣傳印刷物ヲ發行スヘク協議中ナルヲ不穩

ノ行動ナシ

標記争議ニ関スル其ノ後ノ状況左ノ通